

# ティーチング・ポートフォリオ

大学名 東京都市大学  
所 属 情報工学部 情報科学科  
名 前 兪 明連  
作成日 2022年3月26日

## 1. 責務

私は情報工学部情報科学科に所属し、教育・研究活動を行っている。主な科目として、「アルゴリズムとデータ構造（2年・必修）」「オペレーティングシステム（2年・必修）」「情報科学演習（3年、必修）」を担当している。また、研究室において「事例研究（3年・必修）」「卒業研究（4年・必修）」を担当し、大学院の科目では「オペレーティングシステム特論」を担当している。授業以外では、クラス担任を担当している。

## 2. 理念

自立した技術者としての社会人を育成するために、以下の2点の理念を掲げる。

### 1) 学生の自主性を育てる。

技術社会においては、自ら問題を発見し、計画を立てて問題を解決する能力が必要であると思い、その社会人になるための教育として、学生の自主性を育てることを重視している。

（方針A、方針B）

### 2) 学生との距離が近い教員になりたい。

教育には学生とのコミュニケーションが大事だと思い、学生とのコミュニケーションをうまく取りたい。

（方針C、方針D）

## 3. 方法

上記の理念を実現するために、以下のA~Dの方針で教育を行っている。

### ・方針A「学生が能動的に授業に参加できるようにしたい」

授業の資料を2バージョン（教員用、学生用）で作成する。教員用は完成バージョンで、学生用の資料は未完成バージョンである。学生用の資料をWebClassに事前アップロードし、学生は授業までに予習ができ、授業時間に追記を行い、完成バージョンに修正する。

### ・方針B「学生が自己反省できるようにしたい」

授業の最後に復習問題を解かせ、次回授業開始時に復習問題の解説を行うことで学生自身が自分の理解度を確認できるようにする。授業の参加度を高めるために、授業中に簡単な問題を出し、賞品を与える。試験の採点結果は必ず返却し、試験問題の解説を通じて、自己確認ができるようにする。

### ・方針C「学生が質問しやすい環境を作りたい」

研究室でのゼミを含め、学生とのコミュニケーションは小人数或いは個人で行い、発言しやすい雰囲気を作る。学生のニーズを踏まえ、コミュニケーションの機会を増やす。

### ・方針D「学生とのコミュニケーションの時間をふやしたい」

学生一人一人のニーズを踏まえ、コミュニケーションの機会を増やす。

## 4. 成果

・方針A：授業アンケートの自由記述欄の内容が良くなった。

・方針B：授業の参加度が高くなった。

・方針C：学生からの質問が多くなった。

・方針D：学生一人一人への対応がより細かくできた。

## 5. 目標

### <短期目標>

- ・オンラインでの授業にも多くのメリットがあることが分かったため、授業が対面になっても、オンラインシステムを適当に活用して（特に学生との面談）、教育効果を高める。
- ・新しく担当する「キャリアデザイン」科目を、キャリア支援センターと相談しながら学生に役に立つ内容で授業を行う。

### <長期目標>

- ・社会的にトレンドになっている研究テーマを卒業研究などに反映する。

### 【添付資料】

- ・「アルゴリズムとデータ構造」の WebClass の資料&講義資料
- ・「オペレーティングシステム」の WebClass の資料&講義資料
- ・クイズの賞品券
- ・授業評価アンケート結果